よね。

―最後に、木村先輩にとって鶴高とは何でしょうか

要望になってしまうかもしれませんが、他の日大の付属高校とは違う、鶴高としてのひとつのカラーを打ち出していく方がより鶴高らしさがつくられてきて、より魅力ある高校につながっていくのかなと思います。いろんなことで特色を出してもらいたいな、という希望がちょっとあります。

好きですね。三年間通ってたこともあるし、今でも近くを通ったりすると、ぞくぞくする…スポットですよね。自分にとっては、好きっていうのかな、すごく気になる母校ですね。

―本日はありがとうございました。

FOCUS